

学校管理下における重大事故について考える勉強会

～初動調査体制を確立するために～

学校管理下で事故が発生した時の被害者家族の現状

家族や遺族が知りたいことを学校側から知らされることはほとんどないために・・・

- ・重篤な状態の我が子を病院に残しながらも、目撃者の記憶が鮮明なうちにと、生徒への聞き取りなどをして事実を知る
- ・「我が子の身に何が起こっていたのか」「何が真実なのか」を知るために裁判を起こす家族が多い
(何年も二次的被害に苦しみながら闘いを続ける)

事故再発防止、被害者保護のためにも早急な対策が必要

例えば、初動調査体制の確立

- ・制度化された国の調査機関の設立(学校内での調査権限を持ち、当事者や家族、遺族に寄りそった機関)
- ・被害者家族会(仮名)も組織に入る
- ・事故直後に学校に入り調査開始(事故直後3日以内から7日以内に聞き取り調査及びアンケート調査を行う。)

事故が起きた原因はどこにあるのか？
どうすれば事故は起こらなかったのか？
二度と同じ事故をおこさないためにどうすればいいのか？

調査結果を、保護者会や地域に報告
学校設置者、学校、被害者が情報を共有



最大の事故防止策に！

このような体制ができたらいと思いませんか？

勉強会を国会議員の先生方が主催となって開催する運びとなりました。

日時 11月18日(水曜日)11時から12時半(予定)

場所 衆議院第一議員会館 多目的ホール

1. 講演

「事実解明なき学校事故－組体操と柔道から考える」

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

内田良准教授

「被害者のニーズ、学校のニーズ」

横浜市立大学医学部医学科法医学

南部 さおり助教

2. 被害者家族3家族のよる動画

「工藤剣太君の事故当日の練習を部員が再現した記録」

大分県竹田高校剣道部熱中症死亡事件

工藤剣太君

「村川康嗣君の必至に生きようとした記録(命の灯火・・・26日間の闘い)」

滋賀県秦荘中柔道部暴行致死事件

村川康嗣君

「24時間介護の現状」

兵庫県龍野高校テニス部熱中症事故

梨沙さん

<呼びかけ人>

平野 博文 衆議院議員、 牧 義夫 衆議院議員、 笠 浩史 衆議院議員、 初鹿 明博 衆議院議員

<賛同団体>

全国柔道事故被害者の会、 NPO法人ジェントルハートプロジェクト、「剣太の会」

「指導死」親の会、 ラグビー事故勉強会(準備会)、 あもう君の会

<取りまとめ>

全国柔道事故被害者の会